

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成26年11月14日

雲仙で東北支援！？ ～宮城県山元町長来所～

発信元

雲仙復興事務所
調査課 遠藤 亮子

東日本大震災で町の4割が浸水する壊滅的な被害を受けた宮城県山元町の齋藤町長や教育長らが町の復興計画、特に震災遺構を活用した復興計画の参考とするため、10月8日来所され、島原半島における災害遺構を活用した防災教育・災害伝承・地域振興の取り組みや「平成新山フィールドミュージアム構想」を説明しました。

島原半島では、東北をはじめとする全国の被災地から、復興の先進事例として視察を受入れ、その取り組みの情報発信を通じ、雲仙・普賢岳噴火災害の際の「全国からの心温まる支援の恩返し」と「全国の被災地の復興を支援」する取り組みが続けられています。



雲仙・普賢岳

国交省監視所
(資料館)

災害遺構(南島原市)
火砕流で焼失した小学校

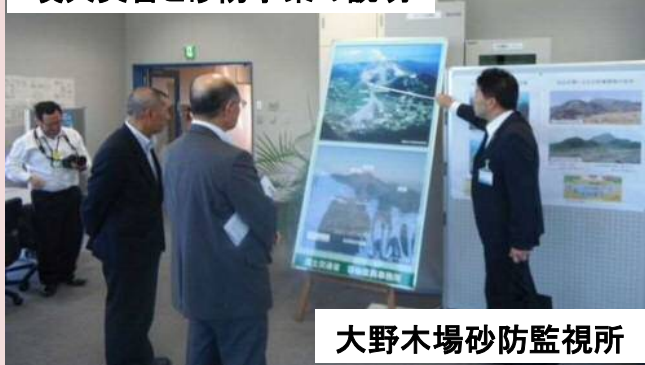
事務所
職員

南島原市
職員



災害遺構を活用した
防災教育・観光振興の
取り組みを参考にしたい

噴火災害と砂防事業の説明



大野木場砂防監視所



島原市長と宮城県
山元町長の対談

【宮城県亘理郡山元町】

- ・ 死者・行方不明者：635人
- ・ 被害家屋（全壊・半壊）：3,302戸
- ・ 浸水面積：24km²（約4割）

【中浜小学校】

- ・ 東日本大震災の際に、津波から避難するため、児童・教職員ら90名が校舎屋上に避難、翌朝、自衛隊のヘリにて救出された。



津波で被災した
宮城県山元町中浜小学校